

## シーシーエス (コード 6669 ジャスタック)

業績推移 (連結)

(予想数値は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		当期利益		一株当利益	一株当配当	配当性向
		伸び率		伸び率		伸び率			
07.7	5,185	+7.4	721	-10.8	431	-17.8	21,016.6	2,000.0	9.5
08.7(予)	6,200	+19.6	770	+6.8	470	+9.0	23,016.7	2,000.0	8.7
07.1(中)	2,526	+17.2	392	+31.7	219	+5.1	10,698.4	-	-
08.1(中・予)	2,850	+12.8	240	-38.8	145	-34.0	7,100.9	-	-

### 画像処理用 LED 照明装置でトップ

**特色**...LED (発光ダイオード) 光源を利用した画像処理用照明装置のトップ (国内シェア約 60%)。製造・集光・放熱・ライティング (光の当て方) の技術に強みを持つ。電子部品・半導体向けを主力に、自動車向け、食品・薬品・化粧品向けなど、多様な工業製品の検査用途に展開。

### 07 年 7 月期は販管費かさみ経常減益に

“三品”向け好調も増収・経常減益...07 年 7 月期は、上記のように売上高が 06 年 7 月期比 7.4% 増、経常利益は同 10.8% 減となった。分野別売上については、国内での工業用 LED 照明事業が 33 億 3,700 万円 (06 年 7 月期比 4.9% 増) 海外での工業用 LED 照明事業が 16 億 3,000 万円 (同 7.2% 増) 新規事業が 2 億 1,800 万円 (同 71.7% 増) にそれぞれ拡大した。国内においては、06 年 7 月期に発売したフラットドーム照明「LFX シリーズ」が食品・医薬品・化粧品といった“三品”業界向けなどに大きく売上を伸ばしたほか、独自設計のスパーク防止構造を実現した「オリジナル紫外 LED」搭載の RoHS 対応紫外光 LED 照明「UV シリーズ」など当期中に発売した新製品も売上増に貢献した。海外においては、欧州では電子・半導体向けが厳しい中、カスタム対応の強化によってほぼ前期並みの売上を確保。北米では業界再編の影響が一段落して 06 年 7 月期比 17.9% 増、アジアでも同 6.6% 増と堅調な伸びとなった。ただ、人員増強やテストングルーム拡充により販売費及び一般管理費がかさみ (17.1% 増) 経常利益は 2 ケタ減となった。

### 今期は LED 照明、新規事業とも好調で増収増益へ

**増収増益の見通し**...08 年 7 月期業績については、売上高が前期比 19.6% 増、経常利益は同 6.8% 増の見込み。08 年 1 月中間期は上表のとおり経常減益の見通しだが、下半期は売上高が 33 億 5,000 万円 (前年同期比 26% 増) 経常利益は 5 億 3,000 万円 (同 61.1% 増) と、利益面では下半期からの回復が見込まれている。年間配当は 2,000 円を予定。

**LED 照明事業、新規事業とも 2 ケタ増へ**...分野別の売上予想は、国内での工業用 LED 照明事業: 40 億円 (07 年 7 月期比 19.9% 増) 海外での工業用 LED 照明事業: 18 億 5,000 万円 (同 13.5% 増) 新規事業: 3 億 5,000 万円 (同 60.6% 増)。なお、植物実験プラントで得られたレタスなど葉菜類の販売 (代理店経由) は前期で終了。無農薬野菜工場を展開するフェアリーエンジェル社に同プラントを譲渡した。今後は、LED 照明事業の枠内で、植物実験プラントで得られたノウハウを生かし、LED を使った葉菜類の育成パネルの実用化に向けた研究開発活動に専念する。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。